

令和4年度旭川未来会議2030観光分野 第1回分野別会議 会議録

- 1 開催日時 令和4年7月4日（月） 午後1時30分から2時45分
- 2 開催場所 旭川市民文化会館2階 第3会議室（旭川市7条通9丁目）
- 3 出席者（参加者） 伊藤公久，井上雅之，大野由加利，柏葉健一，喜久野夕介，菊原洋樹，
山崎五良
※敬称略，五十音順
- 4 出席者（市側）（運営事務局）
観光スポーツ交流部 菅原部長，小島次長
観光課 橋本補佐，大塚主査
（統括事務局ほか）
広報広聴課 中屋課長，山本広聴係長，乙坂広聴係主査
政策調整課 廣岡主査，石田主査
農政課 農政係 山中
- 5 会議の公開・非公開 公開
- 6 傍聴者 1名（報道機関：1名）
- 7 意見交換
 - (1) 議題「観光客の誘客に向けた取組」について
(進行役)
 - ・それでは，各委員が考える観光客の誘客に向けた取組について御発言いただきたいと思いま
 - す。
(参加者)
 - ・観光客の皆様がすぐに利用するのは二次交通になります。二次交通の改善と充実，あとは外国語表記を充実すべきです。
旭川空港は知名度が低く，いかに便利かという部分が伝わっていないと思います。就航率がとても高いので，知名度を上げて，観光客の空港利用を高めていくことで，旭川での宿泊や滞在につなげていくべきです。これまでのインバウンドの傾向を見ると，新千歳空港に入って，旭川に来てもし帰りで札幌に帰ってしまっています。旭川にはおいしいものがたくさんあるし，飲食店や観光スポットもたくさんあるので，旭川空港の利用を促進して，旭川の魅力を知って帰っていただきたいです。
先日，東京から観光のツアーで来たお客様と話をしたところ，新千歳空港か旭川空港かどちらかを利用して北海道に来る方法がありましたが，新千歳空港を利用した方が旅費が安いとのことでした。そうすると安い方から自然と，新千歳空港や札幌方面から旭川に入ってくるという行程になります。雪害が起きて新千歳空港が利用できなくなると，旭川空港は利用できる状

態なのに、北海道全体に行けないような観光客の認識になってしまいます。まずは、旭川空港に入っていただくように取り組むべきだと思います。

次に、二次交通について、バスとタクシーがありますが、バスはメインの事業者が2社あって両社で外国語表記に統一感がないので、統一した方が良いと思います。外国人の方がバスに乗って移動するのは大変なことなので、わかりやすい表記で観光をしやすい状況を作ってあげることがとても大切になってきます。

また、最近よく聞かれるのが、観光周遊バスがあるかどうかということです。昔は、ファンファンがありました。今は路線バスが1日間乗り放題のあさくるパスしかない状況です。あさくるパスは自分が行きたいところに自分の力でいかなければならないので、それが観光客にとっては大変なことだと思います。ただ、観光周遊バスがあつたら便利だと思う一方で、需要がそこまであるかどうかは課題だと感じます。

あと、観光タクシーを利用するという方法もあり、かなり問合せもあります。我々はこのタクシー会社のどのドライバーさんが観光案内に長けているかわからないので、ドライバーさんを登録して、観光案内をしていただくと良いと思います。ドライバーさんが観光案内の勉強するのも大変なので、翻訳ソフトを使ってコミュニケーションをとって案内をすることもできると思います。増毛ではQRコードで解説が流れるような施設があり、ポケトークや社内のモニター機能を活用して観光案内ができないものかと思っています。

外国語表記も、各観光施設に少しだけありますが、QRコードによる音声ガイドの設定などを行えば、もっと旭川について知っていただけると思います。観光スポットの看板も少しずつ充実させてきているので、これらのことを行いながら受入体制を充実させていくことが重要だと思います。

(進行役)

・要約すると、二次交通の問題、タクシーでの観光での乗務員の登録制、外国語表記などの提案がありました。旭川空港はもっと活用を促したいところです。Ma a Sなども実用化が始まっているので、交通についてはその点も考えていくべきだと思います。

(参加者)

・本日の資料において、商品造成・イベント実施、情報発信、受入体制充実の3つのジャンルがありますが、1番大事なのは断トツで商品造成・イベント実施だと思っています。他の2項目も大事ですが、商品やイベントがあつてはじめて情報発信や観光客の受入れがあるので、商品造成をメインに考えてきました。

ゼロから新しいものを造るのはすごく難しくてリスクなので、まずは、動物園の磨上げに力を入れたいと考えます。動物園頼みかと言われるかもしれませんが、それほど力のある施設だと思いますし、観光客の意見を聞いても、旭川では動物園に行ったことがあるという話はよく聞きます。現在のやり方で改善すべき部分があるとすれば、動物園に行って旭川には宿泊しないですぐに帰ってしまうという部分だと思うので、朝や夜に動物園でイベントを行えば、自然と宿泊も伴うことになると思います。

また、それは市民も楽しめなければならないと思うので、市民も参加できるようにすべきです。すぐにできることとしては、動物園に来てから旭川でご飯を食べる機会があると思いますが、動物園の中に梅光軒・天金・山頭火などに入っておくとか、新たな施設も毎年のようにオープンしているので、ゾウ・コアラ・サイなどの珍しい動物がいたら、とても癒されると

思います。毎年新しい施設を造って、市内の小中学生を案内し学習してもらって身近なものにしていきたいです。

あと、これは経費が膨大になりますが、動物園にはペンギンの散歩がありますが、これを発展させて、氷の上をペンギンが滑り、自分達はスケートをしながら横ではペンギンが滑っているような取組、これは旭川でなければできないと思うので面白いと思います。

次に、ゼロからの施策を考えると、市の中心部や廃校跡地に旭川の木材を使って、アスレチックを造ったり、旭橋の横に川をまたぐ人工のスキー場を造って、常磐公園に着地するなどのコースを造ると、中心部からも近いし、初心者でもスキーを気軽に体験できると思います。あとは、旭川は川が多いので、橋を建設することがあれば、橋をガラスで造ってみるとか。中国にガラスの橋があるらしいです。

情報発信については、ロコミがすごく重要だと思います。受入体制充実は、新千歳空港にはかなわないので、新千歳空港から旭川へのアクセスを整えて、いかに新千歳空港から人を持ってくるかが重要です。あとは、旭川空港と旭川駅をつなぐバスは、荷物をバスの下に預けてしまうので、個人的には少し怖いです。羽田空港のモノレールのように、車内に荷物を入れながら車窓を楽しむのもいいと思います。

(進行役)

・旭川空港から旭川駅への鉄路もあり得ると思います。動物園をさらに充実させて、旭川の地場産品を味わえるお店なども園内に入れてみるとか。観光コンベンション協会で、学会のレセプションを動物園で行う発案もありました。情報発信はロコミが重要で、SNSも考慮すること。あとは、川にガラス製の透明な橋を架けたり、旭川木材を活用したアスレチック施設の建設などがありました。

(参加者)

・動物園に関しては、朝30分でも前に早く入って見学できるようにすると面白いと旅行会社の方も話していました。夜の動物園もやっていますが、まだまだ伸びしろがたくさんあると思います。

私からは、旭川市と周辺町の1市8町の取組を話していきたいです。現在、旭川大雪圏域連携中枢都市圏の取組が進められていますが、旭川市内のシティホテルとしては、このところの稼働率はコロナ前の7割位まで戻ってきています。国内のお客様がほとんどで、国や道の事業も影響していると考えられます。これから、その数字をさらに戻すうえでは、インバウンドの回復が必要だと考えられます。今は、海外旅行は団体ツアーしか入れないことになっていますが、今後は個人型の旅行を増やしていくことになり、中国や韓国ではなく滞在日数の多さからは、欧米豪やアジアの富裕層を狙っていくべきだと思っています。ただ、欧米豪はこちらよりも雄大な自然がある中で対抗できるのかという部分があり、そこで1市8町で連携して温泉ガストロノミーツーリズムを実施していきたいです。これは、欧州圏の方は、文化と食を楽しもうという部分があり、さらに日本という特色から温泉も楽しんでいただくというものです。旭川には温泉がありませんが、層雲峡や白金温泉、旭岳の温泉があり、旭川をハブとして考え、各エリアの温泉に行きながら、旭川にも宿泊していただき、この圏域に長期的に滞在していただくという体制整備が必要です。ただ、このような事業は単年度で終わることが多いので、商品化して来年も再来年もやっていくべきなので、旭川大雪圏域連携中枢都市圏の財源を活用して、旭川がリーディングを取り、他町にも利益が行き渡るスキームを作り上げるべきで、次年

度以降も自走できるように地域全体で取り組んでいくべきだと考えます。

(進行役)

・温泉ガストロノミーは、温泉に入るのと地域の食を絡めるという発想です。旭川は温泉が弱いので、食文化を組み込みながら1市8町の大枠で取り組んでいくということになると思います。

(参加者)

・ホテル、旅館業は観光と密接につながっている代表格だと思います。コロナ禍でも国・道・市からも補助金の交付を受け、重要視していただいていると実感しています。

観光と言っても、旭山動物園におんぶにだっこの状態であります。少し現実味を帯びた業界の本音は、新千歳空港から旭川に来るけど、旭山動物園に行って、ラーメン村に行って、そのまま札幌に帰ってしまうということ。市内には観光施設が複数あり、それら施設の充実という話はわかりますが、施設自体にそこまで集客力はないと思っています。また、観光周遊バスのファンファンの話も出ていましたが、全然人が乗っていなかったため、やっても意味がないという話になり続かなかったのだと認識しています。動物園に特化するのはいいと思いますが、次に何をやるのか。

観光という視点もいいですが、産業、教育、文化、スポーツなどを充実させると、観光も連動して充実していくと思います。あとは、旭川はれてを展開する杉村さんのように、メディアをうまく活用して情報発信すべきです。動物園では6か国語表記になっていますが、従業員の教育が少し足りないなので、そこを伸ばしていった方がよいと思います。旭川滞在が1泊だけでなく、2泊、3泊してもらえる観光を目指すべきです。

(進行役)

・旭川において滞在型観光を目指すということで、具体的な観光スポットが動物園以外にないので、そのようなスポットを造るとか、観光とは異なる分野を充実させながら観光に結び付けていくのがよいのではということだと思います。

(参加者)

・昨今のコロナ禍でも観光が動き始めていますが、その動き始めに思ったのが、観光客は全く新しい所に行くよりも、知っている場所や知っている人に会いに行く傾向があると思います。なぜかという、安心感があるし、知っている人に久しぶりに会いたいからだと思います。

私が常々思っているのは、観光の誘客という中では関係人口をもっと作るということが必要だと思います。行政同士の姉妹都市関係とかではなく、旭川市と相手方を結び付ける何かがあれば、観光コンテンツの一つになるし、誘客できるフックにもなるということです。例えば、観光はだいたい1回行ったら終わりですが、もっとリピーターを作るにはどうしたらいいかを考えていくべきだと思います。旭川にゆかりのあるものは、全国、全世界にあり、梅光軒が世界に支店があったり、男山の日本酒が世界で売られていたり、もっとそれを使ってプロモーションするべきです。例えば、男山の日本酒に航空券が当たるようなキャンペーンをして誘客するとか、もっと関係人口を増やすきっかけ探しや、取組を作っていくべきです。

(進行役)

・高知の四万十市では、最高気温が41度、一方で旭川市は最低気温がマイナス41度。

このつながりで、お互いの観光交流をするような話題も以前出ていたことがありますが、そのようなきっかけで関係人口を増やすことが必要ということだと思います。

(参加者)

・前回の資料を眺めながら、旭川と函館を比べた場合に、観光入込客数はほぼ同等ですが、宿泊延数は圧倒的に函館の方が多くなっています。この原因は何かというと、泊まる理由がないということです。函館は、朝市と夜景を売りにしているので、この2大巨頭が観光客をそのエリアから離さないということが分析できます。

それでは旭川はそれに対抗して何ができるかということ、まず一つ目は朝の取組です。

私は羅臼町に何度も訪問していますが、競り場に行ったら行政の職員が札付きの帽子をかぶっており、その横で外国人観光客がせりに参加していました。普通は3千円位の魚を、彼らはオークションとして認識し、数万円で競り落とします。競り落としたり、とても喜んでいて、その脇からはささっと運送会社の方が出てきて、自国へ発送する。このような取組を旭川で行ったらよいと考え、旭川の卸売市場にはかねてから依頼しています。さらに、流通団地に朝市を造らせて欲しいというような話もしています。

次に、夜の取組です。動物園は、さらに磨いた方がいいと思います。個人的には夜の動物園を見てみたいので、ナイトサファリツアー in 旭川を毎日行うことです。園内は高低差があるので、トローリーで座ったまま見学できるようにします。

滞在人口を増やすには、旭川空港の拡大、拡充しかないと考えます。JALやANAはこれ以上便数を増やしてくれないと思うので、LCCやHACの便を増やすべきです。道内周遊の観点から、北海道の中心部に位置する旭川空港は理があるし、軸になってくるので、HACに対しても声をあげていただきたいです。LCCは函館、釧路などに既に就航していますが、旭川は名古屋のセントレア空港を狙うべきです。セントレア空港はハブになろうとしています。乗り継ぎなどに関しても、旅行の行程は距離の問題ではなく時間とコストの問題です。

あとは、スタルヒン球場にナイター設備を整えたので、それを有効活用し、寝ないでフェスをしたら観光客がたくさん来ると考えます。また、旭川駅の裏側をビーチにしてほしいとも頼んでいる。旭川駅から神楽の方までジップラインでつないだら最高に面白いと考えます。さらに、旭川空港から西神楽駅までをゴンドラでつなぐことです。高低差があるのでJRは通せないと言われていたのですが、それならゴンドラを通して、しかも1両編成の車両が停車する風景もクールだと思います。このようなことをやれば、まだまだ観光客は増やせると考えます。

(進行役)

・競り場や朝市、夜の動物園も面白いと思います。LCCはずっと言われているし、HACはもう一度やってほしいし、フェスなど盛り上げるイベントも必要だと思います。空港までゴンドラを走らせるのもいいアイデアで、具現化できるものもありそうな気がします。

(進行役)

・旭川は市政施行100年で歴史が浅く、歴史的建造物などありません。旭川と言えば川なので、旭川空港から旭川駅からゴムボートで下るなどをやってほしいです。そうすると、旭川空港から来た時にいい思い出になります。よって、川を交通網にできないかと考えています。

また、旭川空港に空マルシェがありますが、近くに散策できる観光ルートもないので、そういうものがあつたほうが良いと思います。

(2) その他

(進行役)

・その他として何かありますか。

(各参加者)

・特になし

(事務局)

・本日欠席された3人の参加者からは、本日発言予定だった意見を聞き取り、次回の資料に反映する予定です。2人の参加者からは、あらかじめ発言内容を頂戴しているのので、代読させていただきます。

一人目の参加者からは、温泉ガストロノミーツーリズムやサステナブルツーリズムについて周辺自治体と連携した取組、リアルスポーツやeスポーツ両方を活用したスポーツツーリズムの推進、ポスト旭山動物園ではなく、旭山動物園の運営に経営の観点を取り入れた磨き直し、市内及び周辺自治体連携による広域圏でのMa a Sの実現、旭川空港のオープンジョーを活用した、他都市・観光地との新たな観光需要の創造などです。

その他にも、市内観光関係団体の統廃合整理や担当事業の整理による効果的かつ効率的な事業運営、観光関連経済統計の整備と活用を御意見としていただいております。

また、二人目の参加者からは大きく2つの取組の御意見をいただきました。一つ目は、道の駅プロジェクトとして、道の駅でイベントを行う意見をいただきました。例えば、道の駅での屋台の実施、各地域の道の駅の駅販売商品の物販、キャンピングカー展示販売、二輪車の展覧会、花火大会、芸能人の派遣、ゆるキャラコンテスト、道の駅Mr. Mrsコンテストなどです。

二つ目は、アミューズメント複合施設の建設です。例えば、1階は居酒屋、焼肉屋、ラーメン屋などで、2～3階はビリヤードやダーツ、カラオケなどのアミューズメント施設、4階はBARラウンジなどが入る商業施設を建設し、市民や観光客が楽しめる場を設けるということです。

(進行役)

・その他、何かありますか。それではないようですので、本日の会議は以上とさせていただきます。